

第4学年2組 体育科学習指導案

平成30年11月6日火曜日5校時

第4学年2組 (男子9名 女子15名)

指導者T1 高岡 真帆

T2 年永 健二

1 単元名 ゲーム (ゴール型:セストボール)

2 単元の目標

- (1) パスやドリブル、シュートなどの基本的なボール操作やボールを持たない動きによって、セストボールのゲームを行う事ができる。 (技能)
- (2) 運動に進んで取り組み、規則を守り仲よく運動したり、勝敗を受け入れたり、場や用具の安全に気を付けたりすることができる。 (態度)
- (3) ルールを選択したり、ゲームの型に応じた簡単な作戦を立てたりすることができる。 (思考・判断)

3 運動の一般的特性

ボール運動は、主として集団対集団で競い合い、仲間と力を合わせて競争することを楽しむや喜びを味わうことができる運動である。

その中でもセストボールは、2チームが攻めと守りに分かれ、手でボールをコントロールし、パスやドリブル等の技能を生かしてゴールにシュートして得点を競い合うことが楽しい運動である。また、チームで簡単な作戦を立てたり、練習したり、協力し励まし合うことにより楽しさが深まる運動である。

4 児童の実態

(1) 運動に触れる楽しさ体験状況

本学級の児童男子9名(特別支援学級男子1名含む)、女子15名、計24名は、明るく素直である。体育に関するアンケートでは、「体育が好き、まあまあ好き」と肯定的に答えた児童が21名と多い。理由として、「楽しいし面白いから」「いろいろな運動を知ることができるから」「新しいことができるようになるから」などと答えている。一方、「あまり好きではない、好きではない」と答えた児童が3名おり、理由は、「上手ではないから」「けがをするのが怖いから」と答えている。日常においては、昼休みはけいどろや鬼ごっこなどの遊びがほとんどで、ドッジボールなどのボールを使用しているのは男子の一部である。一方、教室や図書室などで本を読んだりして過ごす児童もおり、運動する児童とそうでない児童の2極化が見られる。

(2) 態度、思考・判断に関する学習体験状況

1学期の体づくり運動や水泳の学習では、めあてをもち、その解決方法について考えたり、互いに教え合ったりしながら学習に取り組んできた。しかし、運動の行い方など内容の理解が不十分な児童もおり、自己の課題を解決できない児童もいた。

(3) 技能(運動)の習得状況

本学級の実態として、ほとんどの児童がボールを手で扱うゴール型の経験は少ない。前学年では、フラッグフットボールやソフトバレーボールのルールや技能を簡易化したキャッチバレーボールやワンバウンドラリーゲームなどを行ってきた。その中で、ボールをキャッチすることや味方にボールを手渡したり、パスを出したりする経験はしているが、ボール保持者と自分の間に守備者がいないように移動したり、ねらった所にボールを出す(パスやシュート等)経験は少ない。

(4) 体力の状況

	男子					女子				
段階	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E
人数	5人	2人	1人	1人	0人	7人	6人	2人	0人	0人
%	56%	22%	11%	11%	0%	46%	40%	13%	0%	0%

総合評価A・B以上の児童が8割程度おり、体力については高い。しかし、ボール投げや50m走を見てもみると、得点が4~5点の児童も数名おり、個人差が伺える。そこで、セストボールの授業を通し

て、投力や敏捷性、平衡性、タイミング力などを高めさせることは重要である。

(5) 児童の運動に対する思いや願い

質問事項				
ボール運動は好きですか。	すき 16人	まあまあ好き 5人	あまり好きでない 2人	好きでない 1人
最も高めたい技能は何ですか。	<input type="radio"/> シュート・・・・・・・・・・・・・・・・・・9人 <input type="radio"/> パス・・・・・・・・・・・・・・・・・・9人 <input type="radio"/> ドリブル・・・・・・・・・・・・・・・・・・6人			
セストボールのどんなところが楽しみですか。 (複数回答可)	1 技能が身に付くためのポイントや練習方法を知ること・・・35% 2 自分が技能を身に付けて上手になること・・・・・・・・・・83% 3 友達も技能を身に付けて上手になること・・・・・・・・・・53% 4 技能を身に付けるためにみんなで練習すること・・・・・・・・70% 5 チームで作戦や練習方法を話し合うこと・・・・・・・・・・48% 6 チームで考えた作戦ができるようになること・・・・・・・・65% 7 友達と教え合ってみんなで高め合うこと・・・・・・・・・・52% 8 試合で勝つこと・・・・・・・・・・・・・・・・・・61% 9 自分より上手な友達に追いつくこと・・・・・・・・・・52%			

アンケートの結果、ボール運動が好きと答えた児童が多い反面、「ボールが当たると痛いから」といったようにボールに対して恐怖心があり、あまり好きではないと答えている児童が3人いた。また、「最も高めたい技能が、シュートと答えた児童は9名、パスと答えた児童が9名、ドリブルと答えた児童が6名」という結果から、パスを回しながら、シュートを決めたいという意欲がうかがえる。セストボールの楽しみな点を質問したところ上記の表のようになった。

以上のことから、自分や友達の技能を身に付けることに興味関心が高いことがわかる。一方、技能を身に付けるための練習方法やチームで作戦や練習方法を話し合うような、練習の行い方に興味をもっている児童は少ないことがわかった。その他には、「おもしろいから苦手な体育も楽しみ」「みんなと楽しくする」などの意見もあった。

5 学習を進めるに当たって

そこで本単元では、セストボールのルールを簡易化したゲームを段階的に行い、技能面やゴール型の動き方に苦手意識を持っている児童にもセストボールのもっている楽しさを十分に味わわせながら学習を進めていきたい。また、チームで教え合ったり、練習方法や作戦を考えたりする活動を通して、互いに励まし合う態度を育てていきたい。

本学年はT・Tでの指導となる。授業の前半では、技能面の指導やポイントを押さえる役割をT1（体育専科）が行い、学習の流れや態度面の指導をT2（学級担任）が行っていく。授業の後半では、T1は、技能的な面で個別に指導を行い、T2は、チームの課題に合った作戦や練習方法を選んでいるかを確認していく。それぞれの課題に沿った活動ができているチーム（児童）を賞賛したりすることで、技能面だけではなく、学び方の指導を併せて行うようにする。

単元全体を「オリエンテーション」「ステップ1『自分たちの力を高めながら、ゲームを楽しもう。』」「ステップ2『チームで、攻め方や守り方の作戦を考えて、ゲームを楽しもう。』」の3段階で構成する。

単元全体をとおして、「準備」「めあての確認」「準備運動・基礎的な技能を高める運動」「ゲーム1」「振り返りと練習」「ゲーム2」「本時の振り返りと次時の確認」の流れで学習を進める。

オリエンテーションでは、学習の進め方や基礎的な技能を高めるための運動について理解させるとともに、試しのゲームのゲームをさせることで、個人やチームの課題を明らかにし、一人一人に課題をもたせてステップ1へとつなげていきたい。

ステップ1では、基礎的な「シュート」「パス」「ボールを持たない動き」の技能を高められるように指導していく。その際には、学習カードを用いて技能等のポイントを整理し、そのポイントをもとに、互いに教え合いながら学習に取り組む態度を育てていきたい。また、ゲームのルールを簡易化、選択させていく事で、チームでパスを回しながら攻めることやスペースを見つけて素早く動くことの大切さを実感させ、セストボールの楽しさを十分に味わわせていきたい。

「ステップ2」では、「ステップ1」で学習したことを生かしながら、チームで簡単な作戦を考えて、練習やゲームを行うように指導する。チームでの練習では、前時までの練習方法の中からチームや個人の課題に応じた練習を選択させ、試行錯誤しながら課題を解決させていきたい。

特に本時の学習では、これまでの学習を生かし、チームで簡単な作戦を立てて、ゴール前までボールを運び、フリーな状態でシュートすることを意識してプレーするよう指導していく。「はじめ」の段階では、個やチームの課題に応じた基礎的な技能を高める運動を行うようにする。「なか」の段階では、これまで学習してきたことを生かすとともに、アドバイスや仲間意識を感じられる声かけも考えてゲームを行っていくように指導する。「おわり」の段階では、本時のめあてについて振り返り、次時のセストボール大会へとつなげていきたい。

6 単元の評価規準（● 第3学年 ● 第4学年 ◎ 第3・4学年共通）

	運動への関心・意欲・態度	運動についての思考・判断	運動の技能
単元 の 評 価 規 準	<ul style="list-style-type: none"> ◎ ゲームに進んで取り組もうとしている。 ◎ 規則を守り、友達と励まし合って練習やゲームをしようとしたり、勝敗の結果を受け入れようとしたりしている。 ・ 友達と協力して、用具の準備や後片付けをしようとしている。 ● ゲームを行う場や用具の使い方などの安全に気を付けようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ ゴール型ゲームの行い方を知るとともに、易しいゲームを行うためのゲームの規則を選んでいる。 ● ゲームの型の特徴にあった攻め方を知るとともに、簡単な作戦を立てている。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 易しいゲームにおいて、基本的なボール操作やボールを持たない動きができる。
学習 活 動 に 即 した 評 価 規 準	<ul style="list-style-type: none"> ① ゲームに進んで取り組もうとしている。 ② 友達と励まし合って練習やゲームをしようとしたり、勝敗の結果を受け入れようとしたりしている。 ③ ゲームを行う場や用具の使い方などの安全に気をつけようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ① セストボールの行い方を知るとともに、易しいゲームを行うためのゲームの規則を選んでいる。 ② ゴール型に応じた攻め方を知るとともに、簡単な作戦を立てている。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 基本的なボール操作ができる。 ② 易しいゲームにおいて、ボールを持たない動きができる。

8 本時の学習 (7/8)

(1) 本時の目標

- チームの課題に応じた練習方法を選び、簡単な作戦を立てている。

(思考・判断)

(2) 本時の評価項目

- ゴール型に応じた攻め方を知るとともに、簡単な作戦を立てている。

(思考・判断)

9 学習指導過程 (7/8)

階段	学習内容及び学習活動	指導上の留意点	
		T 1 (高岡)	T 2 (年永)
はじめ 8分	<p>1 準備をする。 (休み時間中に終わらせる)</p> <p>2 あいさつをする。</p> <p>3 めあてを確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ コート、ボール、フラフープ、得点版、ビプスを準備させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 友達と協力して、決められた役割を果たしているか確認する。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> ≪めあて≫ チームで作戦を立てて、セストボールを楽しもう。 </div>		
	<p>4 準備運動に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各チームでストレッチをする。 ○ 基礎的な技能を高める運動をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・ モッチボール ・ 対人パス (パス&ラン: 田バウンドパス) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ストレッチを行いながら、本時のめあてに関係のある話をさせる。 ○ ストレッチが終わった班からボールを取り、前時までに学習した練習方法の中からチームや個人の課題に応じた練習を選択させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各チームや個人のめあてを確認するとともに、めあてを立てることができない児童にはアドバイスをする。 ○ 支援が必要な児童やチームを回り、技術的な指導をする。
なか 32分	<p>5 学習の確認をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ めあてにそったゲームをすることを確認する。 <p>6 ゲーム1に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 前半チーム (4分) ○ 準備・移動 (1分) ○ 後半チーム (4分) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ めあてが「作戦を立てて」ということから、これまでに子どもたちから出された作戦を振り返り、スペースに移動することやパスの種類、コートを広く使うことなどを確認する。 「楽しもう」ということから、互いに励まし合う言葉や態度についても確認する。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>【はげます言葉】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ナイスシュート ・ ナイスパス ・ どんまい ・ ハイタッチ など </div>
		<p>【ルール】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ オールコート (攻撃3人、守備2人:アウトオブナンバー) ○ ドリブルあり ○ダブルドリブルをしないよう気を付ける。 ○ ボールを持ったら2歩までで止まるように気を付ける。 ○ シュートゾーンあり ○全員がゴールしたらボーナス5点 (シュートが決まった児童は帽子の色を変える。) 	
		<p>≪作戦例≫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ スペースに動く ・バウンドパスを使う ・パス&ラン ・ シュートフォロー ・味方が来るまで待つ ・ 相手と味方を見る作戦 ・声かけ作戦 ・ずれ作戦 ・ きょりを見てドリブル ・シュートを決めていない仲間にパス作戦 ・おとり作戦 ・コートを広く使う作戦 ・鬼ごっこ作戦 ・攻めと守りをすぐに切りかえる作戦 	
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>【Aの例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ チームで簡単な作戦を立てている。 </div>	

	<p>7 振り返りと練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 相互評価を行う。 ○ ゲーム1から感じたことの確認 ○ 練習方法の確認 <ul style="list-style-type: none"> ・ 作戦の確認 ・ モッチボール ・ ドリブル ・ 対人パス (チーム) ・ 2対1 ・ 3対2 ・ パス&シュート <p>8 ゲーム2に取り組む。 (ルールはゲーム1と同じ。)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習カードを使い、よかった点と改善点を伝えるよう助言する。 ○ ゲーム1を振り返り、チームの課題を考えさせ、課題を解決するための練習方法を選択させる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>【Aの例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ チームの課題を考え、課題に応じた練習方法を選び、簡単な作戦を立てている。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ○ 【「努力を要する」状況と判断される児童への手立て】 <ul style="list-style-type: none"> ・ スペースに動くことのできない児童に対しては、個別に支援する。(パスした後にすぐに走って移動することなど) </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ○ 指導者は、攻め方の観点をもって、それぞれのチームや個人の動きを観察する。できている児童はほめる。できていない児童には、スペースに動くことやパスの使い方等について指導する。 ○ 指導者は、態度の観点でもチームや個人の言葉や動きを観察する。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 支援が必要な児童やチームを回り、技術的な指導をする。
<p>おわり 5分</p>	<p>10 学習の振り返りとまとめを行う。</p> <p>11 片づけを行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習カード等を使い、チームで振り返りを行わせる。 ○ ゲームを通しての感想を発表させる。 ○ 協力して安全に留意しながら後片づけを行うよう指示する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習カードで振り返りを行う。 ○ 次時の流れを確認する。